

組立てトランク型自動ラップ式トイレ

ラップソン・トレッカー WT-4 (S)



多くの災害現場での経験と 発売から10年以上のノウハウで 災害用トイレ最高の一台へ

2005年のラップポンシリーズ発売から多くの災害を経験し、被災地での声を活かして改良を重ね、益々使いやすい商品になりました。

近年、耳にすることが多くなった「災害関連死」。

災害関連死とは、災害による直接的な被害でなく、避難生活の疲労や環境の悪化等、間接的な原因で亡くなることを言います。

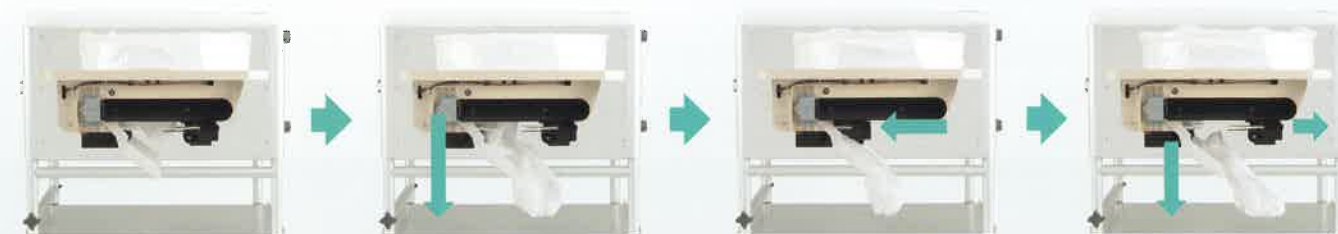
災害関連死を防ぐためにも、トイレは重要なキーワードです。水や食料よりも我慢できないのがトイレです。水が流れなくなった不衛生なトイレでも、我慢できなければ使用してしまいます。不衛生なトイレを使用したくないために、食事や水分補給を控え、「エコノミークラス症候群」を発症し、死に至ることもあります。

トイレを我慢する必要のない環境を作ることは、関連死の防止にとって非常に重要になります。



自動ラップ機構って？

自動ラップ機構は水を使わず、熱圧着によって排泄物を1回毎に密封します。毎回、個包装にして切り離すので、清潔にご使用いただけます。また、排泄物は個包装になっているので、後処理の手間もなく、お手入れも簡単です。



処理開始

排泄後、作動ボタンを押すと自動ラップ処理が開始されます。

フィルム送り

排泄で飛び散った汚れ部分も全てフィルムが送られて閉じ込めます。

熱圧着

排泄物を密封するため熱圧着します。

切り離し

「ピッピッピッ」と終了音が流れると切り離されて完了です。

ラップポンだからできる 安心の10機能

1 臭いや菌を漏らさない防臭フィルム

特殊な防臭フィルム(BOS)と熱圧着により臭いや菌を外に漏らしません。^{※1}
また、ラップすることで汚物や吐しゃ物による二次感染を予防します。^{※2}
防臭フィルムはポリエチレン素材のため焼却しても有害なガスは発生しません。

ラップされた袋は紙オムツと同様の処理が可能です。^{※3}

※1 ラップ済み袋は、長期保存すると臭いが漏れる場合もございますので、早めの処分をお願いします。

※2 ラップポンは感染を完全に防ぐものではありません。

※3 自治体の判断によって処理方法が異なる場合もございますので、各自治体の指導に従い処理してください。



2 お知らせ音付き

電源投入時と処理終了時に「ピッピッピー」、エラー時には「ピピピッー、ピピピッー、ピピピッー」と音でお知らせします。リモコンで3段階の音量調節が可能です。

3 緊急時対応可能なオプション品

ラップポンでは、停電などで電源が確保できない場合にも対応できる各種オプション品を取り揃えています。

小型で保存に最適なリチウムイオンバッテリーの「ハンディーバッテリー」。車のシガーソケットに接続して使用する「車用DCケーブル」。どなたでも簡単・安全に接続して使用できる商品を提供しています。

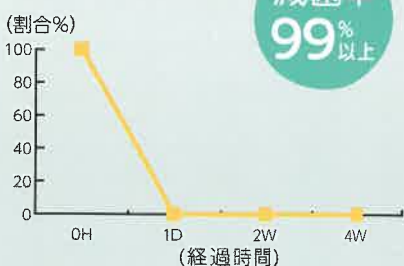


4 特殊フィルムと凝固剤の信頼の試験データ

ラップ済み袋をそれぞれの条件で試験を行い、臭気漏れ・微生物(細菌)の遮断効果を確認しています。
また、ラップポン専用凝固剤を併せて使用することで優れた除菌効果も確認できました。

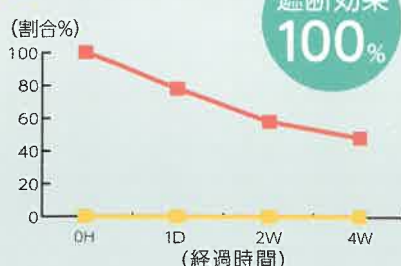
微生物除菌効果(大腸菌群)

■凝固剤+防臭フィルム



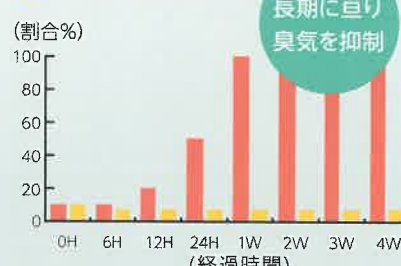
微生物遮断効果(大腸菌群)

■防臭フィルム内の細菌数
■防臭フィルム外の細菌数



消臭 & 防臭効果(硫化水素)

■凝固剤未使用+PEフィルム
■凝固剤+防臭フィルム



※当社試験データに基づきます。※試験は袋に損傷がない場合とします。



5 処理時間の目安を表示

リモコンに処理終了までのカウントダウン表示がつき、圧着完了までの目安がわかりやすくなりました。
また、「おす」ボタンが一段とわかりやすくなりました。



6 更にコンパクトで持運びも簡単に

本体は傷が付いてもサビにくくお手入れしやすいアルミニウム合金製。
軽量なので持ち運びも簡単で、災害時にはすぐに設置・使用が可能です。
使わない時にはコンパクトに収納も可能です。



7 省電力モード/電源OFF機能

使用後1分で省エネモードになり、60分以上使用しない場合電源が自動的にOFFになる待機モードを搭載しました。
長時間使用していない際のバッテリー(別売)の消費をさらに軽減できるようになりました。

8 収納ポケット搭載

両脇に収納ポケットが搭載され、バッテリーなどを収納することも可能になりました。



9 工具不要で組立て簡単

組み立てには工具を使わず、2箇所のネジを留めるだけ。
作業中など手袋をはめたままでも簡単に組み立てができます。

10 安心設計の安全機能付き

フィルムが閉じる時に異物や人間の手等が挟み込まれるのを感知すると動作を中断する「挟み込み防止機能」を搭載しています。
※ラップポンは初号機から全ての自動ラップ式の商品に「挟み込み防止機能」を搭載しています。

使い方はとっても簡単



専用凝固剤を入れる

専用凝固剤を投入し、排泄を済ませます。
排泄物の水分を凝固させるために凝固剤を使用します。



スイッチのボタンを押す

排泄後、スイッチのボタンを押してください。自動でラップを開始します。
防臭フィルムは自動で供給されます。



ラップ済み袋を取り出す

約90秒後、終了音(ピッピッー)が鳴ると切り離し完了です。
底トレーを引き出し、ラップ済み袋を取り出してください。

広がり続けるラップポン 導入実績

販売実績
シリーズ累計
5万台以上

令和6年能登半島地震

2024年1月1日発生（輪島市、門前町、珠洲市、七尾市、能登町など185箇所以上に設置）

災害医療ACT研究所備蓄分より550台、輪島市の要請により政府調達にて70台を設置。避難生活が長引く中で感染症が発生していました。

合計
設置台数 **620台**

令和元年8月の前線に伴う大雨

2019年8月27日～
29日にかけて発生

記録的な大雨により大規模停電と断水が発生。また、工場より油流出被害で病院も機能せず佐賀県庁よりの緊急調達に対応。

合計
設置台数 **10台**

熊本地震

2016年4月16日発生
（熊本県内95箇所以上に設置）

現地入りした災害医療チームからラップポンの要請があり、日本財団から災害医療ACT研究所に災害支援物資としてラップポン500台分、政府より50台分の支援が決定。

合計
設置台数 **450台**

令和2年7月豪雨

2020年7月3日～31日にかけて発生

熊本では日本財団が支援した、災害支援ACT研究所備蓄分より41台を設置。政府は、50台の支援を行いました。山形にも避難所に4台設置しました。

合計
設置台数 **95台**

東日本大震災

2011年3月11日発生（宮城県50箇所以上に設置）

これまでの被災地支援でトイレ問題を重要課題とし向き合ってきた経験を活かし、自治体や関係機関と連携し迅速に活動を行いました。避難所の高齢者や要援護者を中心に需要の調査を行い、ラップポンを設置。室内で安心して利用できる様、トイレ環境の改善を支援しました。また、医療機関とも情報を共有し、感染症が発生している避難所へも積極的に配置していききました。

合計
設置台数 **500台**

能登半島地震

2007年3月25日発生
（輪島市内11箇所に設置）

合計
設置台数 **50台**

中越沖地震

2007年7月16日発生
（刈羽村・柏崎市内30箇所に設置）

合計
設置台数 **100台**

北海道胆振東部地震

2018年9月6日発生
（厚真町・安平町・平取町20箇所以上に設置）

平成30年7月豪雨の支援活動が終了に向かう頃、北海道の胆振東部地区で大地震が発生。支援活動範囲を北海道にも広げ、災害医療チームや医師と共に、ラップポン設置活動を行いました。

合計
設置台数 **100台**

平成30年7月豪雨

2018年6月28日～7月8日にかけて発生
（岡山県・広島県・愛媛県に130箇所以上に設置）

日本財団から災害医療ACT研究所に支援物資としてラップポンの支援が決定。現地入りしたスタッフが、岡山・広島・愛媛に450台のラップポンを設置。

政府からは、50台分の支援が決定し、孤立地区へ設置活動を行いました。経済産業省から感謝状を頂きました。

合計
設置台数 **500台**

令和元年台風15号・19号

15号：2019年9月9日上陸/19号：2019年10月12日上陸
（宮城県・福島県・長野県・千葉県に47箇所設置）

台風15号により、関東各地で記録的な暴風雨となりました。災害救助法を用いて君津市と木更津市が「ラップポン」を各10台導入しました。台風19号は、関東地方や福島県を通過。台風の影響で記録的な大雨により各地で河川の決壊・氾濫等が相次ぎ、大きな被害が発生しました。10月14日「災害医療ACT研究所」から支援要請、「絆・プロジェクト」を始動。宮城県丸森町、福島県相馬市、南相馬市、いわき市、長野県長野市に計180台のラップポンの設置活動を行った。

合計
設置台数 **200台**

ラップポン導入の緊急車両

配管設備等のいらないラップポンはその利便性により多くの緊急車両に採用されています。

東京DMATカー



東京都
導入

支援車Ⅰ型



総務省
消防庁
導入

野外支援車



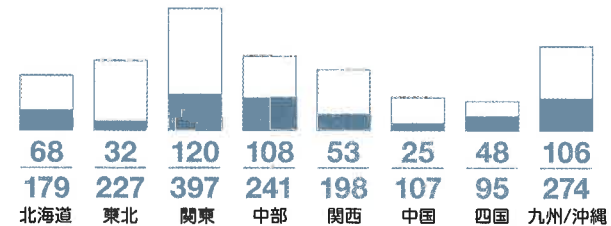
防衛省
導入

トイレカー



警察庁
警視庁
導入

災害備蓄 全国導入自治体数



都道府県
市区町村
実績数

560 自治体
1718 自治体

※2024年6月現在

導入実績 ※最新情報はホームページをご覧ください

SoftBank

トイレ対策を後処理まで視野にいれて見直した時、数週間に及ぶ排泄物の集積・廃棄、感染症予防の観点から、ラップポンの密封性が効果的であると考えています。災害備蓄は、後処理まで含めた運用と処分方法を視野に入れてアイテムを検討しています。

公益財団法人 戸田市文化スポーツ財団

災害後、災害用トイレの衛生面の問題やプライバシーの問題があり、災害用トイレがあるのに使えないという報道を見かけました。生活を通常の状態に戻す・復旧させるにあたり、トイレの衛生面をどう対策するか部署内で話し合いました。衛生面もプライバシーの面でも非常によく造られていると感じた事が導入の一つのきっかけでした。

日本空港ビルディング株式会社 （羽田空港）

災害用トイレは、衛生面だけでなく、高齢者や障がい者の方をはじめとする災害弱者の方々が安心してトイレを使用できるよう、ラップポンを採用しました。

長谷工 コーポレーション

災害備蓄用トイレに第一に求めることは衛生面です。ラップポンの清潔で手入れが簡単ところが気に入りました。

八十二銀行

平成18年7月豪雨の経験で、一番困ったのが、はっきり言うとトイレなんですね。下水が流れないので、水を流せない。したがってトイレで用がたせない。我慢にも限界がありました。トイレが使える所まで、ずぶ濡れになりながらみんなで歩いて行きました。

学校法人 学習院 THE GAKUSHUIN SCHOOL CORPORATION

災害時はすぐにゴミの処理ができるかわからないので、排泄物をストックしなければならない、そう考えると密閉できるというのは重要な観点です。

東京電力株式会社
関西電力株式会社

東日本高速道路株式会社
西日本高速道路株式会社

西日本旅客鉄道株式会社
富士通株式会社

沖電気工業株式会社
清水建設株式会社

株式会社竹中工務店

東急建設株式会社
産業リーシング株式会社

国立極地研究所
創価学会

日本アンチドーピング機構
株式会社八千代銀行

株式会社第四銀行
中日本エクストール横浜株式会社

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)

NTTグループ
株式会社フジテレビジョン

山崎製パン株式会社
住友林業株式会社

三井不動産レジデンシャル株式会社
株式会社長谷工コーポレーション

ホテルオークラ東京
セルリアンタワー東急ホテル

オリパ株式会社

株式会社東京流通センター
学校法人昭和女子大学

国立大学法人長崎大学
高野山真言宗 総本山金剛峯寺

天理教災害救助ひのきしん隊
仙台国際空港株式会社

NAAファイアー&セキュリティ株式会社(成田空港)
凸版印刷株式会社

一部掲載 順不同